



福山赤坂ロータリークラブ週報

第 811 回例会

2014 年 3 月 31 日(月)

2013～2014 年度

国際ロータリー会長 ロンD.バートン

- 会 長 岡本 征三 ●副会長 谷口 宏樹
- 幹 事 今川 忠男 ●会 計 菅 雪雄
- SAA 山本 秀樹 ●副幹事 眞田 奈津基

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276

事務所 福山市赤坂町赤坂 1276

T E L (084)920-4141

F A X (084)920-4140

ホームページ <http://www.fa-rc.jp>

E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp

花見家族例会特集



◆会長の時間

皆さん、今晚は

本日は、花見家族夜間例会に会員をはじめご家族の方々に多数ご参加いただきましてありがとうございます。因島ホテルの桜は、素晴らしいと思います。まだ、満開ではありませんが綺麗な桜だと思えます。

さて、現在の花見は、桜の花を觀賞し、春の訪れを待つ日本独特の風習であり素晴らしい文化だと思えます。もともと、花見の花は、梅から桜に変遷しているようです。又、貴族とか特権階級の花見から、庶民の花見となった歴史があることはご存知のとおりです。花見の代表でありますソメイヨシノは、交配により明治に入り普及しているようです。この花は、一時期、その地域で一斉に咲き競い、わずか2週間足らずで散るため、日本人の心や季節感を捉えて離さないものとなっています。

最近、桜で印象に残っていることがあります。

それは、今年の2月に幹事の今川さんと東京赤坂ロータリークラブを訪問させていただきました。昨年から安部総理の靖国参拝のニュースが新聞、テレビで大きくとりあげられていましたので、この靖国神社へ行ってみようということになり、二人で靖国神社参拝と遊就館を見学しました。この靖国神社には、ソメイヨシノの大木が多数ありました。第二次世界大戦において、これらの桜花に思いをよせながら戦地に行った兵隊のことが思いおこされました。このように桜は、その時代その時期又、人の置かれた環境によりいろんな感情というか思いで見られていたのだと痛切に感じました。

時代が変われば高校、大学入試の合格電報に「桜咲く」というものもありました。最初に言いましたように、春の先駆けとして桜は、その地域ごと一斉に開花し、わずか2週間で散っていく花だからこそ、日本人の心を捉え又、文化として引き継がれているのだと思えます。今のよき時代の花見は、会社なり仲間なり家族でそれぞれの思いで桜を感じ、楽しめば良いのだと思えます。

終わりに、本日の桜花見夜間例会が会員、家族の皆さんにとって有意義で楽しいものとなることを祈念して会長の時間を終わります。



◆幹事報告

(例会変更)

福山東RC 4月 9日(水) → 同日 18:30～ 割烹 ありやす 親睦花見例会
 4月30日(水) 定款による 休会
 府中RC 4月14日(月) → 同日 18:30～ ますや 花見例会
 4月21日(月) 定款による 休会

◆出席報告

○会員数 44名 ○出席率 65.85%

欠席者 14名

馬場さん 橋本(大)さん 平井さん 山本さん 東森さん 石井さん
 石田さん 釜野さん 吉元さん 森原さん 麦谷さん 菅さん
 谷原さん 梅西さん

○前々回補正出席率 3月17日 82.93%

メイクアップ 山本さん

◆義務スマイル

会員入会記念祝

森原久美子さん

22年 3月16日

村井祐介さん

25年 3月26日

◆プログラム：懇親会





次会例会

4月14日(月) 会員卓話

4月21日(月) ゲスト卓話